

サイエンスカフェのお知らせ

第3回：

ビッグデータ時代の研究を「つなぐ」基盤

日時：2015年6月8日（月） 16:30～
（16:00 開場・17:30 終演予定）

場所：文部科学省旧庁舎「情報ひろば」1Fラウンジ
（東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎3階）
交通：銀座線「虎ノ門」駅 11 番出口直結、千代田線・丸ノ内線・日比谷線「霞ヶ関」駅 A13 番出口徒歩 5 分

講演者：大向一輝（国立情報学研究所）



●おおむかい・いっき：1977年京都生まれ。国立情報学研究所・コンテンツ科学研究系准教授。2005年総合研究大学院大学博士課程修了。博士（情報学）。2005年国立情報学研究所助手、2007年同助教、2009年より現職。セマンティックウェブやソーシャルメディア、オープンデータの研究とともに、学術情報サービスCiNiiの開発に携わる。

ビッグデータ時代の日本の大学や研究機関は、どのように「つながって」いるのでしょうか？ なかなか実施できない実験データを研究者間で共有したり、スーパーコンピュータの計算力を遠隔地からも活用したりするためには、災害やセキュリティにも強い学術情報ネットワークが欠かせません。国立情報学研究所が提供する、このようなネットワーク「SINET4」の取り組みを例に、ビッグデータ時代のデータ共有や、ウェブ時代の情報共有やコミュニケーションの特徴等についてご紹介します。



●情報ひろば企画展示 同時開催

情報ひろば3階「企画展示室」において、2015年4月1日～7月末（予定）の期間、研究をつなぐさまざまなネットワークや情報・システム研究機関の活動を伝える展示を行っています。
※入場無料、開館時間 10:00～18:00（入館は 17:30 まで）。